# <マニュアル訂正連絡票>

# ASP システム導入手引書 V30

# [J2K0-6110-01]

#### 2022年9月27日発行

# 修正箇所(章節項):4.1.3.2 定義画面の項目説明

旧記事

以下に, ACP/LAN 接続の定義項目を説明します.

### a. ACP/LAN 接続

"図 4.3 回線定義メニュー画面"の回線定義メニュー画面で "1"【入力/実行】 (ACP/LAN 接続)を押すと, ACP/LAN 接続定義画面が表示されます.

・ACP/LAN 接続定義画面 2

$\left( \right)$	INSTAL	LL				
	ACP/LAN接続					
	エラー コード	削除	回線 記述名	回線 アドレス	伝送 制御手順	
			LAN4600	4600		
			LAN4601	4601		
			LINE4108	4108		
			LINE4109	4109		
4						

画面の内容を以下に示します. なお, ()内は A/N 表示を示します.

# ・エラーコード

回線の作成,変更,削除処理中に,エラーが発生した場合,エラーコードが表示される.

エラーコードが表示された場合,エラーの内容を確認し,再度指定する.

### ·削除

回線の削除を行う場合,【PF18】を押すと、この項目が入力可能となるので、削除を行う回線に文字を指定する.

**削除する場合:** 空白以外の 1 文字

**削除しない場合:**空白

·回線記述名

当該回線に付ける回線記述名を指定する. ただし, XSYSWS, ACPMAINT, PCAMAINT は指定できない.

NSS 記述の物理機番名に対応する.

・回線アドレス

回線アドレスを 4 桁の 16 進数で指定する.

·伝送制御手順

TCP/IP 手順または TICF 手順 (FNAonTCP/IP) を使用する場合に指定する.

IPCR : TCP/IP 手順, TCP/IP-WAN 手順, FNAonTCP/IP (TICF 手順)を使用する. (注 1)

(注 1) FNAonTCP/IP(TICF 手順)を使用する場合, TCP/IP 手順を使用する LAN アダプタにも IPCR の指定が必要である.

備考 1. 伝送制御手順 IPCR 指定時は、メモリを使用する. ACP/ LANP のアダプタを追加する場合は、アダプタ追加後に IPCR 定義を行う. その逆の場合は、 ユーザ区画の再計算が行われないので、システムの使用するメモリサイズが小さくなり、動作が遅くなる場合がある. この場合、「ユーザ区画の変更」処理を選 択し、再計算処理を実行する. 以下に、ACP/LAN 接続の定義項目を説明します.

# a. ACP/LAN 接続

"図 4.3 回線定義メニュー画面"の回線定義メニュー画面で"1"【入力/実行】 (ACP/LAN 接続)を押すと, ACP/LAN 接続定義画面が表示されます.

・ACP/LAN 接続定義画面 2

INSTALL						
ACP/LAN接続						
エラー コード	削除	回線 記述名	回線 アドレス	伝送 制御手順		
		LAN4600	4600			
		LAN4601	4601			
		LINE4108	4108			
		LINE4109	4109			
1						

画面の内容を以下に示します. なお, ()内は A/N 表示を示します.

・エラーコード

回線の作成,変更,削除処理中に,エラーが発生した場合,エラーコードが表示される.

エラーコードが表示された場合,エラーの内容を確認し,再度指定する.

#### ·削除

回線の削除を行う場合,【PF18】を押すと、この項目が入力可能となるので、削除を行う回線に文字を指定する.

**削除する場合:** 空白以外の1 文字

**削除しない場合:**空白

#### ·回線記述名

当該回線に付ける回線記述名を指定する. ただし, XSYSWS, ACPMAINT, PCAMAINT は指定できない.

NSS 記述の物理機番名に対応する.

・回線アドレス

回線アドレスを 4 桁の 16 進数で指定する.

·伝送制御手順

TCP/IP 手順または TICF 手順 (FNAonTCP/IP) を使用する場合に指定する.

IPCR : TCP/IP 手順, TCP/IP WAN 手順, FNAonTCP/IP (TICF 手順)を使用する. (注 1) 詳細は『ASP ネットワーク機能解説書』を参照.

- (注-1) FNAonTCP/IP (TICF 手順)を使用する場合, TCP/IP 手順を使用する LAN アダプクにも IPCR の指定が必要である.-

備考 1. 伝送制御手順 IPCR 指定時は、メモリを使用する. ACP/ LANP のアダプタを追加する場合は、アダプタ追加後に IPCR 定義を行う. アダプタ追加前に IPCR を定義したその逆の場合は、ユーザ区画の再計算が行われないので、システムの使用するメモリサイズが小さくなり、動作が遅くなる場合がある. この場 合、「ユーザ区画の変更」処理を選択し、再計算処理を実行する.

備考 2. TCP/IP 手順の場合は、伝送制御手順に空白を指定しても TCPIP を指定しても同じ動作となる.

# 2021 年 6 月 29 日発行 修正箇所(章節項): 3.3.1 カスタマイズ情報画面(1/6)

旧	記	事
---	---	---

INSTALL カスタマイズ情報フロッピーディスクの変更				
機種名	: ASPSVCxx			
利用者システム名	: ASP			
システム出力メッセージ	: <u>ALL</u>			
		(1/6)		

画面の内容を以下に示します.

● 機種名

カスタマイズ情報に指定されている機種名が表示される. 変更できない.

• 利用者システム名

カスタマイズ情報に指定されているシステム名が表示される.

システム名を変更する場合は,英字で始まる8 文字以内の英数字で指定する.変更した値は,FD インストール時のみシステムに反映される.その他のインストール時は,システム創成処理時に指定した値がシステムに反映される.

指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面などで表示される. また、ロ グオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK におけるシステム識別名などで使用する.

利用者システム名をシステム創成処理時に変更した場合は、システムに反映されるが、カスタマイズ情報には 反映されない.したがって、「システム情報の表示」と「カスタマイズ情報の表示」では表示内容が異なる場 合がある.

### ・システム出力メッセージ

システムメッセージの出力文字種別を以下の記号で指定する.

JEF: 日本語出力だけで運用する(日本語運用あり).

AN: 英数字出力だけで運用する(日本語運用なし).

ALL: 両方の出力で運用する(日本語運用あり).

なお、カスタマイズ素材保存システムの場合は、「ALL」と設定され、変更することはできない.

必要な変更を行い,【入力/実行】を押すと,「日本語辞書インストール情報」を指定する画面が表示されます. 以下に, 画面と内容を示します.

# 新記事

INSTALL カスタマイズ情報フロッピーディスクの変更				
機種名	: ASPSVCxx			
利用者システム	、名 : <u>ASP</u>			
システム出力メ	<sup>1</sup> ッセージ : <u>ALL</u>			
		(1/6)		

画面の内容を以下に示します.

● 機種名

カスタマイズ情報に指定されている機種名が表示される.

変更できない.

• 利用者システム名

カスタマイズ情報に指定されているシステム名が表示される.

システム名を変更する場合は,英字で始まる8 文字以内の英数字で指定する.変更した値は,FD インストール時のみシステムに反映される.その他のインストール時は,システム創成処理時に指定した値がシステムに反映される.

指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面<del>など</del>で表示される. また、ロ グオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK におけるシステム識別名などで使用する.

利用者システム名をシステム創成処理時に変更した場合は、システムに反映されるが、カスタマイズ情報には 反映されない.したがって、「システム情報の表示」と「カスタマイズ情報の表示」では表示内容が異なる場 合がある.

・システム出力メッセージ

システムメッセージの出力文字種別を以下の記号で指定する.

- **JEF**: 日本語出力だけで運用する(日本語運用あり).
- AN: 英数字出力だけで運用する(日本語運用なし).
- ALL: 両方の出力で運用する(日本語運用あり).

なお、カスタマイズ素材保存システムの場合は、「ALL」と設定され、変更することはできない.

必要な変更を行い,【入力/実行】を押すと,「日本語辞書インストール情報」を指定する画面が表示されます. 以下に,画面と内容を示します. 提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします.

1. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される. ここで、提供され たシステムマスタをセットする.

#### TNORATI

INSTALL	
システム創成(バージョン	アップ提供)
バージョン カスタマイズ <b>ID</b> システムディスク装置 システムマスタ入力装置 利用者システム名	= Vnn = nnnnnnnn = DISKnnnn = <u>nnnnnn</u> = <u>ASP</u>

#### バージョン:

カスタマイズ情報のバージョンが表示される.

#### カスタマイズID:

カスタマイズID が表示される.

#### システムディスク装置:

システムを格納するディスク装置名が表示される.

#### システムマスタ入力装置:

システムマスタの装置名("装置名+装置アドレス"で指定)を指定する. (例. DVD4470)

# 利用者システム名:

利用者システム名に英字で始まる8 文字以内の英数字を指定する. 指定したシステム名は, サインオン操作画面, システム初期化画面, ジョブ画面などで表示される. また, ログオン操作でのシステムの呼出し名, XLINK でのシステム識別名などでも使用される.

#### 新記事

#### 提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします.

1. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される. ここで、提供されたシステムマスタをセットする.

INSTALL	
システム創成(バージョン	アップ提供)
バージョン カスタマイズID システムディスク装置 システムマスタ入力装置 利用者システム名	= Vnn = nnnnnnnn = DISKnnnn = nnnnnn = ASP

#### バージョン:

カスタマイズ情報のバージョンが表示される.

### カスタマイズID:

カスタマイズID が表示される.

#### システムディスク装置:

システムを格納するディスク装置名が表示される.

#### システムマスタ入力装置:

システムマスタの装置名("装置名+装置アドレス"で指定)を指定する. (例. DVD4470)

# 利用者システム名:

利用者システム名に英字で始まる8 文字以内の英数字を指定する. 指定したシステム名は、サインオン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面<del>など</del>で表示される. また、ログオン操作でのシステムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名<del>などでも</del>使用される.

### 旧記事

提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします.

1. 導入用VMU のメニュー画面で、【PF1】(システムインストール)を押すと、カスタマイズ情報要求メッセー ジが表示される. ここで、【入力/実行】を押すと、インストール形態選択画面が表示される. この画面で、【PF24】を押すと、日本語、A/N 表示の切替えが行える. ただし、ディスプレイ装置自身が日 本語文字発生機構(CG)を持った装置でなければ、日本語が正しく表示されない.



- 2. "2"【入力/実行】 (ND 提供) を押す.
  - システム創成処理起動画面が表示される.



3. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される. ここで、提供され たシステムマスタをセットする.



```
バージョン:
```

カスタマイズ情報のバージョンが表示される.

# カスタマイズID:

カスタマイズID が表示される.

### システムディスク装置:

システムを格納するディスク装置名が表示される.

### システムマスタ入力装置:

システムマスタの装置名("装置名+装置アドレス"で指定)を指定する. (例. DVD4470)

# 利用者システム名:

利用者システム名に、英字で始まる8 文字以内の英数字を指定する. 指定したシステム名は、サイン オン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面などで表示される. また、ログオン操作でのシステ ムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名などでも使用される. 提供されたシステムマスタから基本システムをインストールします.

1. 導入用VMU のメニュー画面で、【PF1】(システムインストール)を押すと、カスタマイズ情報要求メッセー ジが表示される. ここで、【入力/実行】を押すと、インストール形態選択画面が表示される. この画面で、【PF24】を押すと、日本語、A/N 表示の切替えが行える. ただし、ディスプレイ装置自身が日 本語文字発生機構(CG)を持った装置でなければ、日本語が正しく表示されない.

I	INSTALL		
	インストール形態を選択して下さい	_2	
	1.バージョンアップ提供(ユーザ資 2.ND提供(ボリューム初期化型)	源保護型)	

2. "2"【入力/実行】 (ND 提供) を押す.



3. システム創成処理起動画面で【入力/実行】を押すと、システム創成画面が表示される. ここで、提供されたシステムマスタをセットする.



```
バージョン:
```

カスタマイズ情報のバージョンが表示される.

# カスタマイズID:

カスタマイズID が表示される.

```
システムディスク装置:
```

システムを格納するディスク装置名が表示される.

#### システムマスタ入力装置:

システムマスタの装置名("装置名+装置アドレス"で指定)を指定する. (例. DVD4470) 利用者システム名:

利用者システム名に、英字で始まる8 文字以内の英数字を指定する. 指定したシステム名は、サイン オン操作画面、システム初期化画面、ジョブ画面<del>など</del>で表示される. また、ログオン操作でのシステ ムの呼出し名、XLINK でのシステム識別名<del>などでも</del>使用される.

以上